

コンポスト容器の使い方(例)

コンポスト容器

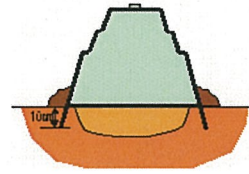
大きなごみバケツの底が抜けたような形をしており、生ごみと土壌を触れさせて、土の中の微生物の作用でごみの有機成分を分解し堆肥化する容器です。

使用法は、水はけの良い土壌に生ごみコンポストを設置します。台所等から出るごみ、落ち葉や草などを投入します。投入されたごみが自然の作用で、発熱、発酵、分解して容積が減り、容器一杯になったところで、堆肥化したところから使用します。

1. 設置

水はけ、日当たりの良い場所に設置します。

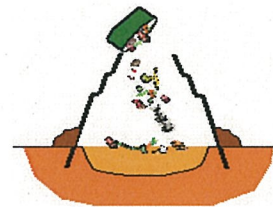
容器を10cm程度地中に埋め固定します。掘った時に出た土は容器のまわりを取っておきます。



10cm程度埋めてください。

2. 生ごみ等の投入

なるべく水を切って、ごみの体積の上面が平らになるように投入してください。ごみが20cm堆積したら、1~2cmの厚さに土をかけて土中微生物を補給すると分解が早まります。また、適度に容器の中身をかき回して空気を送り込んでください。



生ごみは水分をきって！

3. 水分の調整（発酵促進と悪臭防止）

水分が多いと嫌気性菌が増え、発酵が阻害されたり悪臭が発生します。生ごみの水切りをするほか水分の少ない物、(例)落ち葉、わら等を入れて水分を調整したほうが発酵しやすくなります。

4. 不快害虫の防除

容器内は、悪臭や不快害虫の発生源となりやすいので、蓋は必ず閉めてください。害虫が発生した場合は殺虫剤の使用等で対応してください。



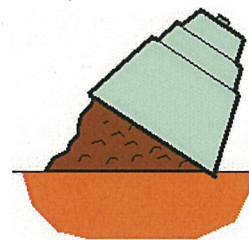
生ごみを投入後1~2cm土を入れてください。

5. 発酵分解

土の中の微生物等が、生ごみを「発酵・分解」し堆肥化していきます。堆肥化するには、投入物により異なりますが、数ヶ月程度かかります。

6. 完成

中身が一杯になったら容器を引き上げます。できた堆肥はすぐに使うのではなく、日当たりの良い場所でしばらく寝かせたほうが良いです。



出来上がり！